

平成28年度 環境教育の取組例

三重県教育委員会

【取組例：小学校】

学 校 名	取 組 内 容
<p>四日市市立 下野小学校</p>	<p>「米づくり体験学習」</p> <p>4月27日、5年生は、学校南側の水田をお借りして、手植えによる田植え体験を行った。4月中旬に苗床への籾蒔きや発芽の観察を行い、農業を営んでみえる保護者の方を講師に招いて、米づくりの現状や仕事、工夫や苦勞、やりがいなどのお話をうかがった。</p> <p>米づくりの体験学習は、3年目である。農業を営んでみえる保護者の方やJAのみなさんに学習を支援してもらっている。</p> <p>アメンボ、タニシ、カエル、ミミズなどいろいろな生き物が田んぼには生きていることも学習しながら、楽しく田植えを体験することができた。</p> <p>夏休み中の稲の観察、9月稲刈り体験、11月下野地区文化祭で収穫した「セコイア米」の販売、1月もち米の購入と「ふれあいもちつき大会」（PTA・敬老会）の活動がある。</p> <div data-bbox="391 1041 1433 1299"> </div> <p style="text-align: right;">（田植え体験の様子）</p> <div data-bbox="391 1332 1433 1590"> </div> <p style="text-align: right;">（苗床への籾蒔きの様子）</p> <p>野呂さんの話を聞いて</p> <p>「中干しのお話をしてもらいました。中干しの目的は4つあります。①土の中に酸素を入れる。②土の中の有毒ガスを出す。③よぶんな分けつを止める。④土を固くして稲刈り作業を楽にする。下野では中干しのためのみぞはあまりほらないことも話してもらいました。」</p> <p>「田んぼには有害な虫がいるんだなと思いました。カメムシ、ウンカ、ジャンボタニシなど教えてもらいました。」</p> <p>「稲に花が咲くのをはじめて知りました。7月終わりから8月初めに咲きます。すごく小さくて見えにくいそうです。夏休みに見ようと思います。」</p>

学 校 名	取 組 内 容
鳥羽市立 弘道小学校	<p>「環境委員会の取組」</p> <p>○給食の生ごみ堆肥化活動</p> <p>昼休みに環境委員会の児童が、生ごみ堆肥化ケース「ひなたぼっこ」を用いた生ごみ堆肥化を行っている。</p> <p>堆肥には給食の残飯であるご飯やパンを利用している。ご飯は水で洗ってねばりを取り、水を切ったものでないと活用できないため、委員会の子どもたちは作業を毎日行っている。これを、環境課が用意した『米ぬか・もみ殻』などを加えてこね回し、日光に当てている。なおいに負けずに行う作業となる。</p> <p>ひなたぼっこで肥料化された残飯は、市内のリサイクルパークに運び、二次発酵させた後、再び学校に届けてもらっている。肥料は学級菜園に活用したり、校内の花壇に混ぜて使ったりしている。</p> <p>○全校児童へ活動の紹介</p> <p>集会発表の中で環境委員会が肥料づくりの活動について全校に報告を行った。</p> <p>集会では、6年生を中心に活動から考えたことや、なおいに負けずに行っている毎日の作業の内容についてわかりやすく紹介した。</p> <p>また、自分たちのがんばりについて、「きらきら星」の替え歌で元気よく全校に向けて伝えることができた。</p>



(残飯処理の様子)



(集会発表の様子)

学 校 名	取 組 内 容																																																																				
熊野市立 五郷小学校	<p>「獣害と環境保護の話を聴こう」</p> <p>何年にも渡って動植物や人間が豊かに共存できる自然林を作ろうと取り組んでいる地域の林業家さんを講師にお招きし、実際に「三ツ口山」に行って、獣害と環境保護の話を聴いた。</p> <p>林業家さんの話</p> <p>1 植林による針葉樹の森と広葉樹の森の違い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森に住む昆虫、小動物は、木の実や下草など餌が豊富な広葉樹のほうが多いこと。 <p>2 獣害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作物や木の实、芽を食べにくる獣たちを害獣と呼び、その被害を獣害というが、それは人間から見た言い方であること。 ・ サル、シカ、イノシシ、クマなどが当てはまること。 ・ 広葉樹の苗木を植林したときは、大きく育つまではネット等で木を守っていること。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホタルの餌になるカワニナを育てていること。 ・ ゲンジボタル・ヘイケボタルの幼虫の餌は、カワニナで、ヒメボタルの幼虫の餌は、キセルガイであること。 ・ ミツバチを飼って、山の蜂蜜を集めていること。 <div data-bbox="976 241 1439 564" data-label="Image"> </div> <p>(話を聴いている様子)</p> <div data-bbox="976 667 1439 1012" data-label="Image"> </div> <p>(ミツバチの巣箱の様子)</p> <div data-bbox="1082 1146 1439 1541" data-label="Table"> <table border="1"> <caption>三ツ口山の薬木</caption> <thead> <tr> <th>木の名前</th> <th>葉のききめ</th> <th>木の名前</th> <th>葉のききめ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トナリキ</td> <td>しもゆけ、下側に</td> <td>赤オノキ</td> <td>せき、葉脈に</td> </tr> <tr> <td>タラシキ</td> <td>縁脈側に</td> <td>サンショウ</td> <td>縁脈、刺葉に</td> </tr> <tr> <td>サゴツバキ</td> <td>葉裏・葉縁に</td> <td>サブニツグイ</td> <td>縁脈、葉脈側に</td> </tr> <tr> <td>クスノキ</td> <td>行株間に</td> <td>ニワトコ</td> <td>縁脈、葉脈側に</td> </tr> <tr> <td>ヤマグワ</td> <td>葉縁、やろくに</td> <td>アカマツ</td> <td>葉脈などに</td> </tr> <tr> <td>サクラ</td> <td>せき、おでんに</td> <td>クリ</td> <td>やろくに</td> </tr> <tr> <td>クナシ</td> <td>ほろも、葉の裏に</td> <td>カキ</td> <td>しやくりほかに</td> </tr> <tr> <td>アカメカシワ</td> <td>ほろも、葉の裏に</td> <td>ナンタン</td> <td>せき、葉脈に</td> </tr> <tr> <td>キハダ</td> <td>縁脈、下葉止めに</td> <td>アマキ</td> <td>かた、葉の裏に</td> </tr> <tr> <td>ヤマモモ</td> <td>灯り、口内面に</td> <td>アマチャ</td> <td>せき、葉脈に</td> </tr> <tr> <td>キイナゴ</td> <td></td> <td>ユズリハ</td> <td>おでんに</td> </tr> <tr> <td>スルメ</td> <td>下葉、せきに</td> <td>タツキ</td> <td>葉脈の間に</td> </tr> <tr> <td>クロモジ</td> <td>皮裏面に</td> <td>ウツキ</td> <td>刺葉に</td> </tr> <tr> <td>アセビ</td> <td>縁脈側に</td> <td>ツツジ</td> <td>縁脈に</td> </tr> <tr> <td>ササギ</td> <td>リウマ子、下側に</td> <td>ホムノキ</td> <td>葉脈の間に</td> </tr> <tr> <td>スズ</td> <td>ほり、やろくに</td> <td>チャノキ</td> <td>かたの縁脈、下側に</td> </tr> </tbody> </table> <p>五郷小学校児童 環境体験学習 平成25年6月26日</p> </div> <p>(三ツ口山の薬木について書かれた看板の様子)</p>	木の名前	葉のききめ	木の名前	葉のききめ	トナリキ	しもゆけ、下側に	赤オノキ	せき、葉脈に	タラシキ	縁脈側に	サンショウ	縁脈、刺葉に	サゴツバキ	葉裏・葉縁に	サブニツグイ	縁脈、葉脈側に	クスノキ	行株間に	ニワトコ	縁脈、葉脈側に	ヤマグワ	葉縁、やろくに	アカマツ	葉脈などに	サクラ	せき、おでんに	クリ	やろくに	クナシ	ほろも、葉の裏に	カキ	しやくりほかに	アカメカシワ	ほろも、葉の裏に	ナンタン	せき、葉脈に	キハダ	縁脈、下葉止めに	アマキ	かた、葉の裏に	ヤマモモ	灯り、口内面に	アマチャ	せき、葉脈に	キイナゴ		ユズリハ	おでんに	スルメ	下葉、せきに	タツキ	葉脈の間に	クロモジ	皮裏面に	ウツキ	刺葉に	アセビ	縁脈側に	ツツジ	縁脈に	ササギ	リウマ子、下側に	ホムノキ	葉脈の間に	スズ	ほり、やろくに	チャノキ	かたの縁脈、下側に
木の名前	葉のききめ	木の名前	葉のききめ																																																																		
トナリキ	しもゆけ、下側に	赤オノキ	せき、葉脈に																																																																		
タラシキ	縁脈側に	サンショウ	縁脈、刺葉に																																																																		
サゴツバキ	葉裏・葉縁に	サブニツグイ	縁脈、葉脈側に																																																																		
クスノキ	行株間に	ニワトコ	縁脈、葉脈側に																																																																		
ヤマグワ	葉縁、やろくに	アカマツ	葉脈などに																																																																		
サクラ	せき、おでんに	クリ	やろくに																																																																		
クナシ	ほろも、葉の裏に	カキ	しやくりほかに																																																																		
アカメカシワ	ほろも、葉の裏に	ナンタン	せき、葉脈に																																																																		
キハダ	縁脈、下葉止めに	アマキ	かた、葉の裏に																																																																		
ヤマモモ	灯り、口内面に	アマチャ	せき、葉脈に																																																																		
キイナゴ		ユズリハ	おでんに																																																																		
スルメ	下葉、せきに	タツキ	葉脈の間に																																																																		
クロモジ	皮裏面に	ウツキ	刺葉に																																																																		
アセビ	縁脈側に	ツツジ	縁脈に																																																																		
ササギ	リウマ子、下側に	ホムノキ	葉脈の間に																																																																		
スズ	ほり、やろくに	チャノキ	かたの縁脈、下側に																																																																		